

実践記録

学校/学年	小学校／5年	
教科等：単元名	学級活動：「情報モラルの学習」	
キーワード	気をつけることは、パソコンも生活も一緒	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	☒ 情報社会の倫理 ☐ 法の理解と遵守 ☐ 安全への知恵 ☐ 情報セキュリティ ☐ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	1 a：発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ 3 e：情報を正しく安全に利用することに努める
	中目標項目番号 中目標項目内容	(a3-1)他人や社会への影響を考えて行動する (e3-2)自他の個人情報、第三者にもらさない
授業会場	☐ パソコン教室 ☒ 普通教室 ☐ 特別教室〔 〕 ☐ その他〔 〕	
学習の目標	自分の身を守る方法や相手を傷つけないために守ることを理解する。	
使用教材	教材名	さるおくと学ぼう
	製作者	個人サイト
	入手先(URL等)	http://www2.odn.ne.jp/yuki-yuki/menu.html

○展開案

	学習活動	指導 評価◎
導 入	1. ホームページを見たり、メールを利用したりするときに気をつけることを考える。	
展 開	2. 「ひぼうちゅうしょう」と「こじんじょうほうのろうえい」を見て、問われた問題について考える。 3. 「せいかつバージョン」を見る。	・ 自分だったらどう思うか、どうするかを考えさせる。 ◎不特定の人に見られる可能性があるインターネットの特徴を理解できたか。
お わ り	4. 実際に起こった事例について話を聞き、学習感想を書く。	◎危険を予測したり、避けたりするためにはどうしたらよいか考えることができたか。

○授業の成果

- ・「生活バージョン」があることで、パソコンを使うときだけでなく、普段の考え方が大事だという生活指導面からの意識付けができた。
- ・個人情報を安易に漏らしてはいけないと実感できた。

○指導のポイント・留意点

- ・資料映像が低学年向けなので事例を話すなどして自分たちの身近に起こりうることを実感させたい。